

市民が主役の まちづくりに向けて

最新の統計結果（平成23年度）では、仙北市の1人当たり所得額は、全県25市町村中20位と、4年前に比べて2位順位を上げました。しかし、市民生活にゆとりを感じる状況にはありません。そこで1期目の公約で達成できていないものは、これを検証し、目標数値の再設定など必要な対応を行いたいと思います。市民の皆様にはご理解とご協力をよろしくお願いします。

私の市政運営に向けた政治信条に、「守る・決める・創る」があります。先人より受け継いだ伝統と文化を次代に伝え、いかなる難題にも最良の判断を下し、住み続けたいと思っただけのまちづくりを市民協働・創意工夫で実現する、そんな気持ちを含んでいます。加えてこれからは、一度取り組んで上手にいかなくても、立ち上がり再挑戦するタフネスな市政運営を心がけます。このような思いから1期目の市政公約を継承し、2期目は公約に示した4点について最大努力を約束します。

1 産業振興と雇用拡大で 市民所得を向上させる

農業・商工業など、地場産業の振興や起業の支援はもちろんです。市内産業全般の高次化・世界基準の産業づくりを進めます。特に、生産原料に地場農産物を使用する可能性が高い食品関連企業については、その育成と誘致に全力であたります。また、仙北市の稼ぎ頭と言える観光分野では、観光振興母体の育成再編を目指します。予定を1年繰り上げ、新観光振興計画の策定に着手

2 組織と行財政のスリム化、 統合庁舎に向けた取り組み

組織再編は、行政内部での検討だけでは完結しない多くの要因があります。何よりも、まちづくりは市民との連携が重要であるとの観点から、各団体等との調整に時間を要する多くの再編案は、今回見送り、平成26年度の組織案は即対応が必要なもの、調整ができたものに特化しました。

主なものについては、危機管理・災害対応力の強化と機動性を高めるため、総務部に総合防災課を新設。また、事務事業の外部委託作業や行財政改革を進める事務事業移転室の開設。企画政策課には統合庁舎の道筋を構築する庁舎整備推進係の設置などです。その他機構、事業の連携を考え各組織の編成を整えました。組織再編と並行して、市単独の補助金等についても見直しに着手しています。類似活動を行う各団体の

3 市民が主役のまちづくり 安心安全なまちづくり

市民と協働のまちづくり、事務事業の移転を加速します。仙北市協働によるまちづくり基本条例の理念に基づき、市民が主役のまちづくり、安心安全なまちづくりを進めます。

活動財源の交付基準を見直すなど、制度の改善に努めた地域運営体をはじめ、各種のまちづくり活動を行う団体、地域問題の解決に努力する団体や市民個人など、行政と市民等の役割を明確にし、お互いの連携と協力で市の活力を再生します。また、自主防災組織の立ち上げ促進、活動支援を行うなど、市内のどこに住んでいても安心できる、災害に強いまちづくりを進めます。市職員の削減は、現状の事務事業の見直しによる民間移転・廃止等が不可欠です。多面的な検討を行い、コストの削減、市民サービスの向上や拡大に効果が期待できるものは、可能な限り民間移転を進めます。

4 市民人口減少と 少子高齢化対策への挑戦

若者の流出や未婚化等による人口減少、高齢化対策へあらゆる知恵を絞る覚悟です。医師確保や病院整備、福祉保健政策から産業振興、労働政策、また、1月に開催した子ども議会でも提案された入ボツ施設整備計画の策定など、広く政策を連結する必要がります。人口減少対策は、持論ですが、まずは産業の振興と雇用拡大だと考えています。また、住宅政策について、民間の活力導入も含め議論を進めます。男女が出会える場、環境づくりは大変に重要で、各企業と地域の相互連携の仕組みを構築したいと思えます。子育て環境の改善や学校教育の充実、よりきめ細やかな制度の作成、対応を目指します。

高齢者の生き甲斐につながる社会参画メニューの提案、除雪に関する支援などは新たな展開となります。また、公共交通の在り方を見直す調査にも着手します。

市議会本会議での市長施政方針（抜粋）

平成26年度当初予算については、依然として続々本市の厳しい財政状況を受け、歳入確保に努めながら公債費負担の計画的な縮減を図り、一般会計へ入で前年度対比6億6807万6千円の減となる181億5192万4千円の予算規模となっています。歳出では普通建設事業費や人件費、公債費の減により抑制に努めながら、消費税率の引上げや電気料金等の値上げによる例年にならぬ経費の増にも対応しつつ、市有財産等利活用検討委員会で処理方針が「解体」とされている財産のうち、優先度の高い財産に係る解体経費も予算化しています。また、これまで継続している事業についても、停滞することなく円滑に推進しながらも新規要素を含んだ事業展開が可能となるような弾力的な予算配分を行いました。

平成 26 年度市の予算総額 412 億 8,110 万 5 千円

一般会計 181 億 5,192 万 4 千円
特別会計 113 億 4,330 万円
企業会計 117 億 8,588 万 1 千円

一般会計予算の状況（歳出）

義務的経費は、人件費は職員数の減により1億6,479万7千円減の35億5,035万1千円、公債費は計画的な縮減により3,428万円減の28億561万8千円となっています。

また、投資的経費では普通建設事業費が、大規模肥育牛団地整備事業、光ブロードバンド設備整備事業、仙北組合総合病院改築事業負担金、岩瀬北野線整備事業、市民会館施設整備事業、図書館安心・安全快適環境づくり事業などの減により7億4,589万5千円の減で16億2,713万4千円となっています。

その他の経費では物件費が、市議会議員選挙費、認可保育園非常勤職員費、ごみ処理場管理運営費、総合情報システム管理費などの増により7,892万2千円の増で31億4,345万4千円、補助費が、臨時福祉給付金給付事業費、子育て世帯臨時特例給付金給付事業費、水道事業会計補助金、農地集積協力金事業費補助金、規模拡大交付金事業費補助金、国民文化祭推進事業費などの増により1億6,729万円の増で20億8,911万7千円となっています。

▼ 一般会計当初予算目的別歳出内訳

区分	平成 26 年度予算額	構成比 (%)
1 議会費	1 億 8,960 万 3 千円	1.0
2 総務費	20 億 7,911 万円	11.5
3 民生費	49 億 8,553 万円	27.5
4 衛生費	23 億 5,923 万円	13.0
5 労働費	9,831 万 7 千円	0.5
6 農林水産業費	8 億 9,466 万 8 千円	4.9
7 商工費	7 億 1,552 万 5 千円	3.9
8 土木費	16 億 9,848 万円	9.4
9 消防費	7 億 446 万円	3.9
10 教育費	15 億 7,584 万 8 千円	8.7
11 災害復旧費	2 千円	0.0
12 公債費	28 億 561 万 8 千円	15.5
13 諸支出金	1 千円	0.0
14 予備費	4,553 万 2 千円	0.2
合計	181 億 5,192 万 4 千円	100.0

一般会計予算の状況（歳入）

市税は、市民税やたばこ税の増が見込まれるものの、観光客数減少に伴う入湯税の減及び地価下落等による固定資産税の減により571万3千円減の25億4,739万9千円となっています。国の地方財政対策などにより、地方消費税交付金は2,000万円増の2億9,000万円、自動車取得税交付金は1,700万円減の1,800万円、地方交付税は前年度と同額の90億円を計上しています。

また、市債は、仙北組合総合病院改築事業費負担金、市民会館整備事業費、図書館整備事業費などの減により5億860万円減の13億9,180万円、うち臨時財政対策債は9,000万円減の6億5,000万円となっています。

▼ 一般会計当初予算目的別歳入内訳

区分	平成 26 年度予算額	構成比 (%)
1 市税	25 億 4,739 万 9 千円	14.0
2 地方譲与税	2 億 1,000 万円	1.2
3 利子割交付金	300 万円	0.0
4 配当割交付金	1 千円	0.0
5 株式等譲渡所得割交付金	1 千円	0.0
6 地方消費税交付金	2 億 9,000 万円	1.6
7 自動車取得税交付金	1,800 万円	0.1
8 地方特例交付金	500 万円	0.0
9 地方交付税	90 億円	49.6
10 交通安全対策特別交付金	300 万円	0.0
11 分担金及び負担金	1 億 1,429 万 3 千円	0.6
12 使用料及び手数料	2 億 6,302 万 6 千円	1.5
13 国庫支出金	16 億 9,283 万 6 千円	9.3
14 県支出金	10 億 7,662 万 9 千円	5.9
15 財産収入	2,256 万 7 千円	0.1
16 寄附金	2 千円	0.0
17 繰入金	7 億 7,602 万 4 千円	4.3
18 繰越金	1 千円	0.0
19 諸収入	7 億 3,834 万 5 千円	4.1
20 市債	13 億 9,180 万円	7.7
合計	181 億 5,192 万 4 千円	100.0



所得を増やします
東アジア観光宣伝・誘客事業費 105万円
 秋田県に來られる外国人観光客のほとんどが田沢湖・角館地域を訪れていることから、角館町観光協会・田沢湖観光協会と連携しながら海外誘客事業を行っていくとともに外国語版観光ガイドマップをの増刷など受け入れ体制の強化を継続します。

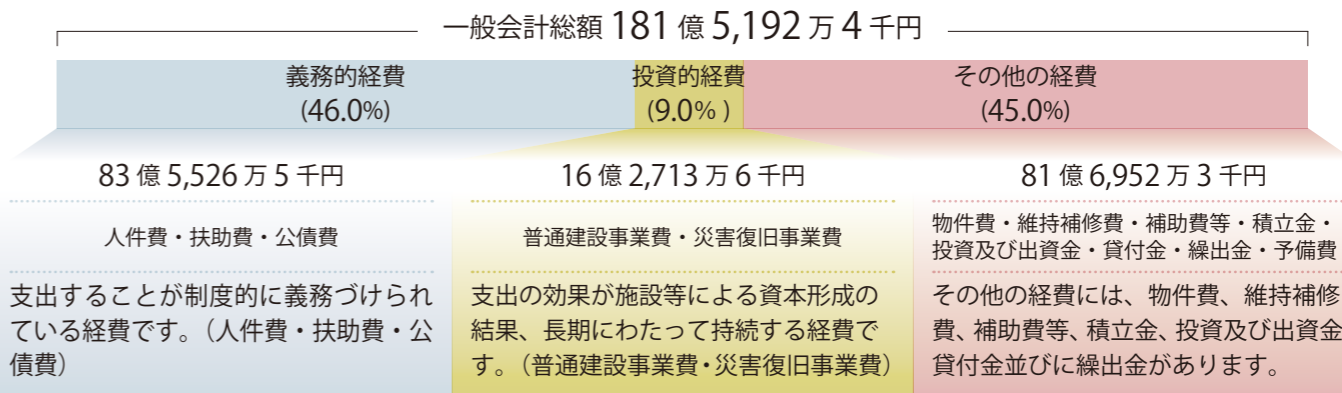
4つの重点政策

産業振興や雇用対策を徹底し税収の確保を図ります
組織再編や庁舎一元化に取り組み
行財政改革を断行します

協働のまちづくりを進め
民間への事業移転を加速します
少子高齢や人口減少に
歯止めをかける政策に着手します

当初予算を性質別に分類すると、「義務的経費」・「投資的経費」・「その他の経費」に分類することができます。

区分	平成 26 年度予算額	構成比 (%)	平成 25 年度予算額	比較増減	増減率 (%)
1 人件費	35 億 5,035 万 1 千円	19.6	37 億 1,514 万 8 千円	△ 1 億 6,479 万 7 千円	△ 4.4
2 物件費	31 億 4,345 万 4 千円	17.3	30 億 6,453 万 2 千円	7,892 万 2 千円	2.6
3 維持補修費	4,703 万 4 千円	0.3	4,651 万 9 千円	51 万 5 千円	1.1
4 扶助費	19 億 9,929 万 6 千円	11.0	19 億 9,806 万 4 千円	123 万 2 千円	0.1
5 補助費等	20 億 8,911 万 7 千円	11.5	19 億 2,182 万 7 千円	1 億 6,729 万円	8.7
6 普通建設事業費	16 億 2,713 万 4 千円	9.0	23 億 7,302 万 9 千円	△ 7 億 4,589 万 5 千円	△ 31.4
7 災害復旧事業費	2 千円	0.0	2 千円	0	0.0
8 公債費	28 億 561 万 8 千円	15.5	28 億 3,989 万 8 千円	△ 3,428 万円	△ 1.2
9 積立金	1 億 3,382 万円	0.7	1 億 3,358 万 8 千円	23 万 2 千円	0.2
10 投資及び出資金	1 億 1,755 万 2 千円	0.6	1 億 1,230 万 3 千円	524 万 9 千円	4.7
11 貸付金	3 億 5,700 万円	2.0	3 億 5,680 万円	20 万円	0.1
12 繰出金	22 億 3,601 万 4 千円	12.3	22 億 2,829 万円	772 万 4 千円	0.4
13 予備費	4,553 万 2 千円	0.3	30,000 万円	1,553 万 2 千円	51.8
合計	181 億 5,192 万 4 千円	100.0	188 億 2,000 万円	△ 6 億 6,807 万 6 千円	△ 3.6



▲ 一般会計当初予算性質別歳出入内訳

▲ 会計別予算総括表

会計名	平成 26 年度予算額	平成 25 年度予算額	比較	伸び率 (%)
一般会計	181 億 5,192 万 4 千円	188 億 2,000 万円	△ 6 億 6,807 万 6 千円	△ 3.6
集中管理特別会計	42 億 7,690 万円	44 億円	△ 1 億 2,310 万円	△ 2.8
下水道事業特別会計	12 億 2,870 万円	11 億 9,900 万円	2,970 万円	2.5
集落排水事業特別会計	3 億 5,450 万円	3 億 4,370 万円	1,080 万円	3.1
浄化槽事業特別会計	1 億 3,100 万円	1 億 1,900 万円	1,200 万円	10.1
国民健康保険特別会計 (事業勘定)	35 億 5,800 万円	40 億 3,340 万円	△ 4 億 7,540 万円	△ 11.8
国民健康保険特別会計 (田沢診療施設勘定)	2,960 万円	3,170 万円	△ 210 万円	△ 6.6
国民健康保険特別会計 (神代診療施設勘定)	1 億 760 万円	1 億 910 万円	△ 150 万円	△ 1.4
後期高齢者医療特別会計	2 億 9,540 万円	2 億 9,250 万円	290 万円	1.0
介護保険特別会計	4 億 6,360 万円	4 億 5,570 万円	790 万円	1.7
生保内財産区特別会計	7,450 万円	6,290 万円	1,160 万円	18.4
田沢財産区特別会計	3,170 万円	2,500 万円	670 万円	26.8
雲沢財産区特別会計	670 万円	410 万円	260 万円	63.4
簡易水道事業特別会計	7 億 8,510 万円	3 億 7,710 万円	4 億 800 万円	108.2
病院事業会計	111 億 1,406 万 8 千円	60 億 9,370 万 6 千円	50 億 2,036 万円 2 千円	82.4
温泉事業会計	6,932 万 8 千円	5,014 万 4 千円	1,918 万円 4 千円	38.3
水道事業会計	6 億 248 万 5 千円	5 億 507 万 7 千円	9,740 万円 8 千円	19.3
合計	412 億 8,110 万 5 千円	369 億 2,212 万 7 千円	43 億 5,897 万円 8 千円	11.8

台湾修学旅行誘致促進事業費

203万4千円
 秋・冬季を中心に台湾からの修学旅行を誘致し、国内修学旅行閑散期における賑わいの創出を図るため、現地での誘致活動の実施とともに、台湾側で二つの高いホームステイ(農家民宿泊)やスキー体験、学校間交流などの活動を支援します。

シニア地域づくりに関する調査研究事業費【新】

378万円
 本市におけるユニバーサルツーリズムを促進するため、地域の現状把握・課題抽出・事例研究を行い、地域のユニバーサルツーリズム支援者を教育・育成します。

秋田デザインエシオンキャンペーン市町村負担金

126万7千円
 デスティネーションキャンペーン関連事業に係る負担金です。キャンペーンによる誘客効果を仙北市へ取り込み、観光客の誘致を図ります。平成26年度はアフターキャンペーンを展開します。

茶文化交流協議会負担金

20万円
 「茶文化」をキーワードに、当市、静岡県掛川市、岐阜県多治見市、岩手県奥州市の4市が連携し、お茶に関連するそれぞれの特産品や伝統工芸品のPRと消費拡大を図ります。

住宅リフォーム促進事業費補助金

1500万円
 市内の住宅改善の促進、市民生活の向上および地域経済の活性化を図るため、自己の居住の用に供する住宅の増改築・リフォーム工事を市内の事業所に発注し、50万円以上の経費を要した場合一定の助成を行います。(補助金額上限10万円) また、リフォームに伴い新たに下水道へ接続する場合は、10万円加算します。

せんぼくアートプロジェクト推進費

105万3千円
 市内のアーティスト等がそのネットワークを活用し、自主的に行う創作活動や発表・展示等のイベントを通して、地域の魅力発信や継続的な賑わいの創出を図ります。また、アーティストネットワーク等による、新

医療を再生し

福祉を充実します

地域医療改革推進費【新】

23万7千円
 平成25年度で計画期間が終了となる「仙北市立病院等改革推進計画」の次期計画策定に向けて協議検討します。

臨時福祉給付金給付事業費【新】

1億1869万5千円
 消費税率の引上げに伴い、低所得者への暫定的・臨時的な措置として、臨時福祉給付金を支給します。

人工透析通院費支給事業費

129万円
 腎臓の機能に障がい有する方が、人工透析治療を受けるため医療機関への通院に要した交通費の一部を助成します。

障がい者(児)タクシー利用券給付事業費

251万1千円
 仙北市に住所を有する重度身体障がい者(児)、知的障がい者(児)、精神障がい者(児)および難病患者(特定疾患医療受給者)の外出行支のためのタクシー利用券を給付し、生活圏の拡大を図るとともに、社会

高齢者世帯等除雪支援事業費【新】

1806万6千円
 自力で除雪することが困難だと認められる高齢者世帯等に対して除排雪や雪下ろしに係る費用の一部を助成します。(2万円利用券)

住宅前除雪事業：住宅の玄関から公道までの除雪に対する扶助です。

(1万5千円利用券)
 豪雪時住宅屋根雪下ろし事業：仙北市豪雪対策本部を設置後の扶助です。

中学生入院医療費助成事業費

40万8千円
 市単独事業として、市内に住所を有する中学生の入院医療費の自己負担分を助成します。

訪問看護ステーション整備事業費補助金

314万円
 訪問看護ステーションの空白地域の解消を図るため、事業立ち上げに要する経費の支援を行います。





LED照明導入事業費【新】 545万9千円
平成25年度に更新して平成26年3月から開始となる、市所有のLED街灯リース料です。

LED街灯ESCO事業費 334万5千円
平成25年度に更新して平成26年8月から開始(予定)となる、町内会等のLED街灯ESCOサービスに係る経費です。

本庁舎等省エネルギー対策推進事業費【新】 108万円
エネルギーの使用の合理化に関する法律に基づく特定事業者に指定されていることから、法律に基づき各施設の施設台帳・運用台帳を整備します。

VI 生活を守る仕組みを強化します

市有財産アスベスト対策推進事業費 399万4千円
旧角館町老人福祉センターのアスベスト除去工事を行います。

仙北市公共交通体系ビジョン策定事業費【新】 13万6千円
今後の市内公共交通についての検討を行い、公共交通体系ビジョンを策定します。

公共施設再生可能エネルギー等導入事業費 1億6142万1千円
公共施設における再生可能エネルギーの導入を図るため、市内小中学校・角館交流センターおよび神代出張所の施設内照明、街灯のLED化等を実施します。

食料放射性物質測定事業費【新】 227万3千円
仙北市内の食品の放射能測定を行い、市民の食への安心・安全に寄与します。

田沢二期地区水利用高度化推進事業費負担金 89万4千円
田沢二期地区内の地域用水機能増進事業に対する負担金です。

土地改良施設維持管理適正化事業費負担金【新】 119万円
院内川統合水利揚水機の老朽化に伴う更新事業に対する負担金です。

仙北平野基幹水利施設ストックマネジメント事業費負担金【新】 48万円
農業用水の安定的な確保と配分の機能維持を図りながら、土地改良施設の長寿命化を図るために、仙北平野土地改良区が導入する用水管理システムの整備に伴う負担金です。

仙北組合総合病院救急医療運営費補助金【新】 730万円
大曲・仙北地域の医療を担う仙北組合総合病院では、救急医療部門が不採算となっているほか、医師や看護師不足も深刻で、これらの維持が病院にとっての大きな負担となっていることから、運営費の一部を補助し、救急医療のさらなる充実および医療機能の強化を図ります。

III 市民分権を進めます

地域力ステップアップ事業費 205万円
協働によるまちづくり提案型補助金を継続し、市民等団体が地域の活性化や地域課題の解決に向け、自ら企画実施するまちづくり事業を支援します。

地域運営体活動推進費交付金 4500万円
地域自治組織である地域運営体が行う、地域の特性を活かした自主的、主体的な活動や地域が抱えている



様々な課題を解決したり、所得や生活基盤の向上を図るための事業に財政的支援を行います。また、平成26年度からは交付金一律配分を見直し、新たに提案型特別分を新設します。

IV 行政改革を断行します

地域力ステップアップ事業費 49万8千円
政策検証市民委員会による検証を行い、今後の事業展開等に繋げるとともに、ニーズに合った行政改革を実施します。

行政改革推進費 37万6千円
行政改革大綱の進行管理、審議を行うための行政改革懇談会および指定管理者の候補者選定委員会を開催します。

V 次世代育成に力を注ぎます

クニマス里帰りプロジェクト事業費 97万6千円
①平成23年11月2日に提携した西湖・田沢湖姉妹湖提携事業の一環として、富士河口湖町と本市の児童・生徒による交流事業を実施します。

②クニマス受入に向け山梨県農産部や関係団体等と協議を進めます。
③クニマス養殖場の整備に向け、秋田県水産振興センター等の協力を得ながら、関連調査(湖畔周囲の水質・水量、十和田湖ヒメマス孵化施設調査)を進めます。

在宅子育てサポート事業費 225万4千円
在宅で小学校就学前児童の子育てをする保護者に対し、市が指定する子育てサービスに利用できる「在宅子育てサポート券」を交付し、子育てを応援します。



子ども子育て支援推進事業費【新】 276万2千円
平成27年度からの「子ども・子育て支援新制度」実施に向け、子ども・子育て会議の開催や子ども・子育て支援事業計画を策定します。

出会い・結婚支援事業費【新】 24万6千円
少子化対策の一環として、出会い・結婚の支援を行います。
子育て世帯臨時特例給付金給付事業費【新】 2640万5千円
消費税率引上げによる子育て世帯への影響を緩和するための措置として給付します。

局所防災事業費【新】 355万9千円
県単局所防災事業(治山事業)により山腹工事を施工し、人家や林地の被害を未然に防止します。

玉川温泉園地冬期観光安全対策事業費補助金 38万5千円
昨年実施した調査結果を基に積雪時に調査員による危険予知判断や除雪を行い利用者の利便性と安全確保を図ります。

道路新設改良費 4億2438万円
道路改良により交通基盤を整備し、歩行者や交通量に配慮した安全・安心な市道の整備を進めます。
橋りょう整備事業費【新】 1335万円
玉川温泉橋の整備(欄干補修)を行います。

岩瀬北野線整備事業費 4億2126万2千円
都市計画道路岩瀬北野線の小館(内川橋)～大風呂(横町橋)区間を整備します。
・事業計画画1487頁 計画幅員W16.1m
・平成26年度事業内容 建物移転補償・積算委託、用地買収費

自主防災組織育成事業費 190万9千円
自主防災組織(私設消防団含む)の活動支援として推進事業費を助成し、自主防災組織率の向上と組織の

一般総務費(児童福祉施設費) 275万4千円
地域で子育てをサポートする環境づくりの一環として、子どもの一時的な預かりを行う子育てサポートを充実するため、仙北市で開催される「子育てサポート講習会」の開催費を負担します。

保育園入所待機児童等支援事業費補助金 344万4千円
認可保育園待機(保留)児童が、認可外保育所等へ入所した場合、認可保育所へ入所した場合と同等の負担となるよう支援を行います。

JFA夢先生招聘事業費 120万円
JFA(日本サッカー協会)が、日本や世界で活躍するアスリートを学校に派遣し、児童生徒に夢に関する授業を実施します。小学校高学年を対象に、日本や世界で活躍するアスリート本人による夢の授業を受ける機会を提供します。

キャリア教育・ふるさと学習支援事業費 268万4千円
子どもたち一人一人の勤労観・職業観を育て、将来、子どもたちが社会人として自立できる意欲・態度や能力を育てるとともに、地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域の学校の特色に応じた事業を推進します。
神代地区総合型地域スポーツクラブ創設事業費 120万8千円
神代地区の総合型地域スポーツクラブ

育成を図ります。また、自主防災組織による雨量計設置を推進します。
危険空き家対策費 345万2千円
市内で増加する空き家対策として、地域の活性化と市民の安全・安心の向上を図るため、危険老朽空き家を解体撤去する際の支援を行います。

防災の集い開催事業【新】 51万円
平成26年度から実施予定の仙北市防災週間、市民を対象に親子避難所宿泊体験をメインとする体験学習会を開催します。
日本スポーツマスターズ2014軟式野球秋田県予選補助金【新】 15万円
日本スポーツマスターズ2014軟式野球秋田県予選大会開催に係る補助金です。(平成26年7月12日～13日開催予定)

西明寺地区簡易水道拡張事業費(簡易水道事業特別会計) 6億628万円
西明寺地区簡易水道に隣接する神代地区の一部に西明寺地区簡易水道を拡張して配水管を整備し、水道未普及地域の解消を図るとともに、当該地区において良質な水道水を安定的に供給します。
公共下水道事業費(下水道事業特別会計) 5億503万2千円
社会資本整備の促進と安全・安心で潤いある生活環境の改善、河川等の水質保全のため、下水道整備を行います。また、供用開始から約25年が経過し老朽化が進行している田沢



クラブ設立を、より効果的に進めるための調査・検討を行うとともに、グラウンドゴルフ・野球・バレーボール・ソフトテニス・クロスカントリースキーを中心にスポーツ教室等を開催し、スポーツの推進を図りながら、総合型地域スポーツクラブについての周知・広報を進めます。

生保内公園野球場改修記念事業費【新】 27万3千円
生保内公園野球場改修工事竣工記念試合を開催します。
【開催期日】平成26年5月3日(土)
①角館高校 対 岩手県久慈高校
②生保内中学校 対 神代中学校
総合型地域スポーツクラブ事業実施補助金 270万円
松木内地区に設立した「松木内てくてく倶楽部」のスポーツ教室の開催やクラブマネージャーの設置を行います。

湖浄化センターで、処理水質および維持管理性向上のための改修工事と耐震補強工事を行うため、再構築事業委託を行います。

VII その他

国民文化祭推進事業費 7618万6千円

平成26年度秋田県で開催される「第29回国民文化祭・あきた2014」(平成26年10月4日～11月3日)に係る事業です。事業内容は「第29回国民文化祭仙北市実行委員会」への補助金です。
【開催事業】
①民俗芸能の祭典 ②秋田の文学について知ろう ③佐藤貞子～秋田おばこ物語～ ④アートdeまちあるき ⑤江戸に花開いた秋田の文化 ⑥田沢湖・角館短歌大会 ⑦大正琴の祭典 ⑧内陸線アート事業

